

少女の“悪夢”が  
そのまま映画になった！  
ファンタジー・ホラー誕生。

第1回東京国際映画祭参加作品



# 狼の血族

新鋭ニール・ジョーダン監督作品

ロンドンで記録的大ヒット！  
ついに、日本上陸。

THE COMPANY OF WOLVES 主演■アンジェラ・ランズベリー／イギリス映画／カラー作品／配給■ヘラルド・エース 日本ヘラルド映画

# 解—説

生粋のイギリス人の映画づくりコンビ、26才の

プロデューサーと35才の映画監督が、これまでの、あらゆるジャンルを超えたファンタジックなホラーをつくり、これが'84アポリアッツのファンタスティック映画祭に出品されると、直ちに審査員特別賞となって脚光を浴びる。さらに余勢をかって、やはり同じ年の東京国際映画祭のヤングシネマ部門にも出品されて、このコンビのメイキング・オブ・シネマはいっきに広まろうとしている。若い映画ファンの注目を集めようとしている。

その映画「狼の血族——カンパニー・オブ・ウルプス」。製作のステイブン・ウーリー、監督のニール・ジョーダンは短篇作家として知られるアンジェラ・カーターの原作にヒントを得て、「これまで誰もつくったことのないような」ファンタジーを作ろうと考えた。アンジェラ・カーターの同名のこの原作は、赤ずきん童話に素材を得たもので、思春期の少女がしばしば見る悪夢をすばらしく豊かなイメージでまとめたものだった。映画はその夢を発展させた形で描かれる。それはグロテスクで不気味で美しくて哀しく、そして官能的だ。

この世界を完璧に表現するために、ウーリーとジョーダンは特別プロジェクト・チームをつくり、美術、メイク、衣裳、大小道具、オブチカル、最高のスタッフが集められた。まずスタジオの中に森をつくる。森というイメージこそが、この作品のモチーフのすべてである。四季折々の森、朝、昼、晩の森、雨と風雪の森。神秘と官能に彩られた森。人工的な森は現実の森を超越するが故に、いっそう観念としての森に近づいていく。美術アントン・ファースト。月夜に狼への変身を繰り返す特殊メイクはクリストファー・タッカー。撮影ブライアン・ロフタス。音楽にジョージ・フェントン。デリケートな照明はサミュエルソン照明会社etc。これら優秀なスタッフたちによって、夢幻的な映像が生み出された。

出演者たちはヒロインの娘、ロザリンにサラ・パターソン。この作品のためのオーディションをうけてピカ一だった。13才のロザリンよりもちょっと年上のまだティーン・エイジャー。祖母にはベテランのアンジェラ・ランズベリー。古くは「ガス燈」、最近では「ナイル殺人事件」、「クリスタル殺人事件」の名脇役。他に「わらの犬」「オーメン」のデビッド・ワーナーなどなど。



## 物語

ベッドに一人の少女がまどろんでいた。13才、ロザリン。彼女は夢を見ていた。彼女は狼に殺された姉の葬式のあと、森に住む祖母から狼男の話聞いた。

昔々、満月の夜に姿を消した旅人がいた。数年後、男がフラリと戻ってきてみると妻は再婚していた。激怒した男が狼に変身し妻に襲いかかろうとすると、新しい夫は逆襲し、斧でその頭を切り落とすと、ミルクの桶に転ったのは人間の頭だった。祖母はロザリンに注意する。

「濃い眉毛をもった男には気をおつけ。それは狼男なんだから。」そして祖母はロザリンに赤い毛糸のマントを贈った。

またロザリンは夢をみた、白い服を着た彼女に白いロールス・ロイスの運転手だった。後部座席に白い悪魔が乗っており、森の中の青年に小さな瓶を渡した。その瓶の中の液体は身体に塗ると、狼に変身する薬なのである。

一方、ロザリンに恋する村の少年がいた。……

スタッフ■監督／ニールジョーダン■脚本／アシメラカーター(原作も)／ニールジョーダン■撮影／ブライアン・ロフタス  
 ■特殊メイク・デザイン及製作／クリストファー・タッカー■エディトリング／ウルス操作／ロヤーン・シウ  
 ■キャスト■クマニ／アシメラランズベリー■ロザリン／サラ・パターソン■父／デッドウーナー  
 ■母／テッシー・シルバーグ■講師／ミーシャ・パーズ■アリス／ジョージ・フェントン■特別出演／テレンス・スタンプ  
 1984年度イギリスバズ・プロ作品／カラー／ビスタ／1時間34分■ビデオソフト／ベストロンドン・ビデオ社



THE COMPANY OF WOLVES



# 狼の血族

渋谷東急

渋谷東急文化会館5F TEL(407)7029

新宿東映パラス

伊勢丹斜め向い TEL(351)3061

6月22日(土)ロードショー

特別鑑賞券1,200円発売中!

連日	11:20	1:15	3:10	5:05	7:00
----	-------	------	------	------	------